

計画変更年度	令和6年度
都道府県	静岡県
所在地	島田市

土地改良事業変更計画書

水利施設等保全高度化事業(畑地帯担い手育成型)

す わ はら
諏訪原 地区

事業主体	静岡県
------	-----

	目	次
第1章 目 的	1	6. 級地別土地利用区分
第2章 地域及び地積	1	7. 土地配分計画
第1節 地 域	1	第3節 用水計画
第2節 地 積	1	1. 計画基準年
第3章 現 況	2	2. 計画かんがい方式
第1節 気象及び海象	2	3. 計画用水系統
1. 一般気象	2	4. 計画用水量
2. 特殊気象	2	5. 水源計画
3. 海 象	3	第4節 排水計画
第2節 土地状況	3	1. 計画基準雨量
1. 地形、土壌及び浸食の程度	3	2. 計画排水方式
2. 土地分類	4	3. 計画排水系統
3. 土地利用の状況	4	4. 計画排水量
4. 土地所有の状況	5	5. 排水対策
第3節 水利状況	5	6. 湛水検討
1. 用水状況	5	第5節 道路計画
2. 排水状況	7	1. 道路及び索道
3. 河川状況	9	2. 路線配置図
第4節 道路現況	9	第6節 農用地造成計画
1. 道路概況	9	1. 農用地造成計画
2. 主要道路一覧表	9	2. 土壌改良
第5節 地域農業の概況	10	第7節 洪水調節計画
1. 産業別就業人口	10	1. 計画基準雨量
2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の 分散状況並びに専兼業別農家数	10	2. 計画洪水量及び調節量
3. 動力農機具及び主要家畜頭数	11	3. 貯水池
4. 主要作物作付状況	12	4. 洪水調節検討
5. 農業の動向	13	5. 管理計画
第6節 地域環境の概況	13	第8節 干拓計画
第4章 一般計画	14	第9節 農用地整備計画
第1節 事業計画の要旨	14	1. 区画整理
1. 要 旨	14	2. 暗渠排水
2. 事業別面積	14	3. 客 土
第2節 営農計画及び土地利用計画	14	4. 農地保全
1. 営農計画の概要	14	第10節 老朽ため池改修計画
2. 土地利用区分	14	1. 洪水吐改修計画
3. 作付方式	15	2. 堤体補強計画
4. 生産計画	15	3. 取水施設改修計画
5. 労働改善計画	16	第5章 主要工事計画
		第1節 用水施設
		1. 貯水池
		2. 頭首工

3. 揚水機	27	第3節 換地計画樹立の基本方針	37
4. 用水路	27	1. 従前の土地の面積の基準	37
5. その他かんがい施設	28	2. 用途別予定地積	38
第2節 排水施設	28	3. 農用地集団化の方針	38
1. 排水水門	28	4. 非農用地の換地方法	38
2. 排水機	28	第4節 土地の評価及び清算の方法	39
3. 排水路	28	1. 評価の方法	39
4. その他排水施設	28	2. 清算の方法	39
第3節 道路及び索道	29	第5節 換地計画樹立の年度計画	39
1. 道路	29	第6節 換地処分の特則	39
2. 索道	29		
第4節 農用地造成	29	第10章 事業費の総額及び内訳	40
1. 農用地造成	29		
2. 土壌改良	30	第11章 効用	41
第5節 洪水調節施設	31		
1. 貯水池	31	第12章 関連する事業	41
2. 頭首工及び導水施設	31		
第6節 干拓施設	31	第13章 現況・計画図面	41
1. 堤防	31	1. 計画一般図	42
2. 潮止め	31	2. 計画平面図	43
3. 付属施設	31	3. 土地利用計画図	45
4. 埋立	32		
第7節 農用地整備施設	32		
1. 区画整理	32		
2. 暗渠排水	33		
3. 客土	33		
4. 除礫	33		
5. 農地保全	34		
第8節 老朽ため池改修施設	35		
1. 貯水池	35		
2. 堤体補強施設	35		
第6章 附帯工事計画	35		
第7章 工事の着手及び完了の予定時期	35		
第8章 環境との調和への配慮	36		
第9章 換地計画の概要	37		
第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方	37		
第2節 換地区の設定	37		
1. 換地区の名称, 所在, 面積	37		
2. 換地区を設定する理由	37		

第1章 目 的

本県の茶業を取り巻く環境は、茶価の低迷、作業従事者の高齢化と後継者の不足等の諸課題により厳しい状況にある。その中で、優良な担い手が主体となり、効率的かつ安定的な茶業経営を促進する必要がある、このような担い手農家を育成し、農地集積を推進することが急務である。担い手への集積を進めるために、ほ場の区画整理を行い、農作業の効率化を促し、農業競争力の強化を図る。

第2章 地域及び地積

第1節 地域 (第1表)

事業名	地域
水利施設等保全高度化事業(畑地帯担い手育成型)	島田市菊川、神谷城

第2節 地積 (令和6年7月現在) 第2表

事業名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
	市町村名							
水利施設等保全高度化事業(畑地帯担い手育成型)	島田市		7.1	0.2		0.1	7.4	(諏訪原地区)
合計		-	7.1	0.2	-	0.1	7.4	

第3章 現況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

観測所名 菊川 観測期間 1978～2019		かんがい期 4月～9月	非かんがい期 10月～3月	年間 合計/平均	備考
平均気温		20.6 °C	9.2 °C	14.9 °C	
降水量	平均	1437.3 mm	779.1 mm	2216.4 mm	
	基準年	mm	mm	mm	
降水日数 (1.0mm以上)	平均	68日(月平均 日)	46日(月平均 日)	115日(月平均 日)	
	基準年	日(月平均 日)	日(月平均 日)	日(月平均 日)	
無霜期間(平年値)		～			
最多風向		東北東	最大瞬間風速	30.8m/s	

2. 特殊気象

観測所名	静岡地方気象台 S15～H29	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位		
		数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率
最大時間雨量	(mm)	111.5	H15. 7. 4	1/384	83.5	H 3. 9.14	1/39	81.5	H16. 6.30	1/33	76.0	S49. 7. 7	1/21	73.5	S62. 8. 6	1/17
最大4時間連続雨量	(mm)	283.5	H15. 7. 4	1/647	253.5	S49. 7. 7	1/245	189.0	H16. 6.30	1/31	162.4	S29. 9.18	1/13	161.0	S58. 6.24	1/12
最大日雨量	(mm)	368.0	H16. 6.30	1/134	318.0	H14. 7.10	1/47	297.5	S57. 9.12	1/31	288.5	H13. 9.10	1/26	278.5	S49. 7. 8	1/22
最大連続雨量	(mm)	508.0	S49. 7. 7	1/1254	387.0	S57. 9.10	1/101	368.0	H16.6.30	1/68	363.5	H26.10. 5	1/62	344.5	H16.7.3	1/42
最大連続干天日数	(日)	51.0	S48.11.11	1/159	38.0	H7.11.21	1/29	38.0	H9.10.6	1/29	38.0	H23.1.1	1/29	37.0	S61.1.5	1/26
三日連続雨量	(mm)	518.0	S49. 7. 6 ～ 7. 8	1/145	497.0	S57. 9.10 ～ 9.12	1/106	463.0	H15. 8.14 ～ 8.16	1/64	398.0	S58. 8.15 ～ 8.17	1/24	384.4	S20.10.3 ～ 10.5	1/20

3. 海象

※該当なし

(第3表-3)

観測所名		既往最高位 既潮 (m)	さく望平均満潮位 (m)	上下弦平均満潮位 (m)	平均潮位 (m)	上下弦平均干潮位 (m)	さく望平均干潮位 (m)	既往最低位 既潮 (m)	備考
観測期間	年～年								
実測値									

第2節 土地状況

上段:変更前

下段:変更後

1. 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目 傾斜区分	田						畑・その他						受益地標高(m)		備考		
		1/1000 以下	1/1000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 以下	3°～ 8°	8°～15°			15° ～ 20°	20° 以上	計		最高	最低
										8°～10°	10°～15°	8°～15°						
水利施設等保全高度化事業 (畑地帯担い手育成型)	面積 ha							4.7 (4.5)	2.2 (2.1)						6.9 (6.6)	219	205	
	比率 %							68	32						100			
	面積 ha																	
	比率 %																	
合計	面積 ha							4.7 (4.5)	2.2 (2.1)						6.9 (6.6)			
	比率 %							68	32						100			

(第4表-1-2)

項目 土壌統(区)名	土壌統(区)区分一覧表								面積 (ha)		備考			
	土壌断面								事業名					
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土性				泥炭層, 黒泥層 及び グライ層	堆積 様式		母材	水利施設等保全高度化 事業(畑地帯担い手育 成型)	計
					表土 表層	下層土								
赤土原統	黄	表層	なし	なし	CL	Lic			なし			6.9 (6.6)	6.9 (6.6)	
倉真1統	黄褐	表層	含む	なし	L	CL			なし					
計												6.9 (6.6)	6.9 (6.6)	

※該当なし

(第4表-1-3)

事業名	区分	土壌の流亡率				年平均流亡速度				ガリ浸蝕の程度		備考
		0	0~25%	25~50%	50%以上	0	3mm未満	3~5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
	面積 (ha)											
	比率 (%)											

2. 土地分類

※該当なし

(第4表-2-1)

級地別 市町村名	農用地造成											計 (ha)	備考
	一級地 (ha)	二級地				三級地				四級地			
※		3°~8° (ha)	8°~12° (ha)	12°~15° (ha)	※	15°~20° (ha)	20°~25° (ha)	25°~30° (ha)	※	30°以上 (ha)			
計													※は傾斜以外の要因によるもの

※該当なし

(第4表-2-2)

級位別 市町村名	干				拓		計 (ha)	備考
	一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)				
計								

3. 土地利用の状況

(令和6年7月 現在)

(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕地						山林		採草放牧地 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	樹園地 (ha)	茶園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
水利施設等保全高度化事業 (畑地帯担い手育成型)	島田市				7.1						0.2	0.1	7.4	
合計		-	-	-	7.1	-	-	-	-	-	0.2	0.1	7.4	

4. 土地所有の状況

上段:変更前

(令和6年7月 現在)

下段:変更後

(第4表-4)

事業名	所有別		個人所有	部落所有	市町村所有	国所有	計	備考
	区分							
水利施設等保全 高度化事業(畑 地帯担い手育成 型)	面積 (ha)		7.3		0.1		7.4	
	受益者数 (人)		69 (71)		1		70 (72)	
	筆数 (筆)		220				220	
	権利関係		あり				あり	
	備考 (関係戸数)		69 (71)				69 (71)	
合計	面積 (ha)		7.3		0.1		7.4	
	受益者数 (人)		69 (71)		1		70 (72)	
	筆数 (筆)		220				220	
	権利関係		あり				あり	
	備考 (関係戸数)		69 (71)				69 (71)	

第3節 水利状況

1. 用水状況

現況と同じ

(1)用水系統

※該当なし

(2)用水施設

(ア)取水方法一覧表

※該当なし

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積				計		水利権 (最大)		慣行水利権		延べ取水量	備考	
		10 ha 以上		5~10 ha		5 ha 未満								
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m ³ /S	箇所		m ³ /S
	貯水池													
	井堰													
	自然取入口													
	揚水機													
	その他													
合	計													

(イ)改修を要する施設一覧表

上段:変更前

下段:変更後

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は 更新年	改修を必要とする理由	備考
井堰								
自然取入口								
揚水池								
用水路	畑地かんが い末端配管	6.9 (6.6)	塩ビ管、ダクタイル管	φ75~150mm	H2~3	区画整理に伴う移設		
その他								
合計			6.9 (6.6)					

(3)用水に関する被害状況

(ア)用水不足による被害状況

※該当なし

(第5表-3-1)

事業名	システム名 項目	かんがい 面積 (ha)	現況 必要水量 (千m ³)	不足水量				平均 減産量 (t)		備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量		作物名	減産量 (t)	
				平均 (m ³ /S)	基準年 (m ³ /S)	平均 (千m ³)	基準年 (千m ³)			
合計										

(イ)その他の被害状況

※該当なし

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい面積 (ha)	水温(°C)		水質	被害量 (t)	備考
			最高	最低			

(4)ため池決壊の場合の想定被害状況

※該当なし

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積(ha)				想定被害額(百万円)						備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	
合計											

2. 排水状況

※該当なし

.....

.....

.....

(1)排水系統

※該当なし

.....

(2)排水施設

(ア)排水方法一覧表

※該当なし

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排水面積						計		排水慣行 (m3/S)	現況排水能力 (m3/S)	備考
			500ha以上		500ha~100ha		100ha未満		箇所	ha			
	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha					
	自然	排水路											
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計												
合計													

(イ) 改修を要する施設一覧表

※該当なし

(第5表-5)

事業名	項目		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	施設年 又は 更新年	改修を必要 とする理由	備考
	施設名								
	自然	排水路							
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	計								
合計									

(3) 排水に関する被害状況

※該当なし

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況				乾湿状(ha)						平均減産量		備考	
					湛水深 (m)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m3)	田		畑		その他		作物名	減産量 (t)		
									乾	湿	乾	湿	乾	湿				
			平均															
			基準年															
			平均															
			基準年															
合計		0.0	平均															
			基準年															

3. 河川状況

(1) 河川の状況

※該当なし

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 (m ³ /S)	既往最大洪水量 (m ³ /S)	備考

(2) 洪水に関する被害状況

※該当なし

(第5表-8)

項目 河川名	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備考
過去の最大被害額					
平均被害額					

第4節 道路現況

1. 道路概況

耕作道

2. 主要道路一覧表

(第6表)

No.	路線名	管理区分別	延長 (m)	幅員(m)		構造	改修の要否	備考
				全幅	有効			
1	耕作道	島田市	591	1.5~3.0m		CO	要	
2	耕作道(市道)	島田市	492	1.5~3.0m		CO	要	
3	耕作道(改良区)	牧之原畑地総合整備土地改良区	130	3.0m		CO	要	
4	耕作道	島田市	84	2.0m		砂利	要	
5	耕作道(市道)	島田市	171	2.0m		砂利	要	

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(第7表-1)

項目 市町村名	総 数 (人)	農 業 (人)	林 業 (人)	漁 業 (人)	鉱 業 (人)	建 設 業 (人)	製 造 業 (人)	道熱電 供気 給ガ ス (人)	運通 信 輸業 (人)	食卸 売小 売業 店飲 (人)	金保 険 融業 (人)	不 動 産 業 (人)	サ ー ビ ス 業 (人)	公 務 (人)	そ の 他 (人)	備 考
島田市	51,219	3,230	89	19	88	3,784	14,717	267	3,039	7,534	954	506	15,105	1,300	587	平成27年度 国勢調査
計	51,219	3,230	89	19	88	3,784	14,717	267	3,039	7,534	954	506	15,105	1,300	587	
比率(%)	100.0	6.3	0.2	0.0	0.2	7.4	28.7	0.5	5.9	14.7	1.9	1.0	29.5	2.5	1.2	

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

(第7表-2)

項目 市町村名	農家総戸数	経営耕地広狭別農家数 (戸)											1戸当たり平均農用地面積 (ha)						耕地の分散状況		専業別農家戸数 (戸)			備 考	
		例外規定の適用を受けるもの	0.3	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	20.0	自給的農家	田	畑	樹園地	小計	草地	計	1戸当り団地数	団地当り面積	専業	兼業			
			ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha											ha	第1種		第2種
島田市	2,855	20	336	538	261	178	245	154	16	0	0	1,107	0.2	0.0	0.7	0.9	0.0	0.9			518	420	810	2015年 農林業センサス (H27)	
計	2,855	20	336	538	261	178	245	154	16	0	0	1,107	0.2	0.0	0.7	0.9	0.0	0.9			518	420	810		
比率(%)	100.0	0.7	11.8	18.8	9.1	6.2	8.6	5.4	0.6	0.0	0.0	38.8	22.2	0.0	77.8	100.0	0.0	100.0			29.6	24.0	46.4		

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具										主要家畜								備考	
	トラクター		動力田植機		コンバイン						乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏			
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (羽)	戸数 (戸)		
島田市	686	661	685	675	393	385					X	3	X	8	X	1	2,410	3	2015年農林業センサス(H27)	
計	686	661	685	675	393	385					X	3	X	8	X	1	2,410	3		
100戸当たり数量(台)	104		101		102														台/戸数	
利用戸数割合(%)	23.2		23.6		13.5						0.1		0.3		0.0		0.1		戸数/農林業経営体数×100	

4. 主要作物作付状況

(第7表-4)

市 町 名		島田市				計	平均	作付率 (%)	備 考
総耕地 面積 (ha)		2,455				2,455	2,455		
総本地 面積 (ha)		2,395				2,395	2,395		
作物名	区 分	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10 a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10 a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10 a)		
	田	水稻	386	517			386	517	16%
小 計		386				386			
畑									総本地面積の算定 ・本地面積 / 総面積 (旧金谷町) $1,190 / 1,220 = 0.97541$
	小 計								
樹園地	茶	1,860	94			1,860	94	78%	・総耕地面積×0.97541 = 総本地面積 本地面積記載最終年度 第37次 静岡農林統計年報 (H元) P30 参照
	小 計	1,860				1,860			
計		2,246				2,246		94%	
市町村別延べ作付率 (%)		94%							※茶については、センサスに市別が未掲載であるため、県数値を代入した。

5. 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主要作物			大家畜			動力農機具			地域 指定等	備考
		B (H22)	A (現在)		B (H22)	A (現在)	作物名	B (H22)	A (現在)	家畜名	B (H22)	A (現在)	農機具名	B (H22)	A (現在)		
変化 の 状況 (C年 を100 とする 指数)	総農家数	92	79	耕地	97	89	茶	98	90	乳用牛	-	-	動力田植機	118	92	A:現在 平成27年 (農林業センサス2015) B:平成22年 (農林業センサス2010) C:平成17年 (農林業センサス2005)	
	専業農家数	110	120	田	96	81	水稲	75	68	肉用牛	114	-	トラクター	71	60		
	第一種兼業 農家数	72	48	畑	77	123				豚	-	-	コンバイン	71	68		
	第二種兼業 農家数	87	66	樹園地	98	90				採卵鶏	-	-					
	農 業 従事者数	84	61														
変化の 理由	高齢化や社会経済の発展、農業構造の発展が進み、総農家数が減少傾向にある。			農業経営の変化による			農業経営の変化による			農業経営の変化による			農業経営の変化による				

第6節 地域環境の概況

島田市は静岡県内のほぼ中央部、遠く南アルプスに源を発する大井川の中流域に位置し、東海道の宿場町として栄えてきた。市域の広がり、東西に約23km、南北に約31km、総面積は315.88km²と南北に長い地形となっている。その地形から、北部、中部、南部に分かれ、北部は急峻な山間地帯、中部は山沿い地帯と平野部、南部は牧之原台地と平野部からなっている。市中央部には、JR東海道線とこれに平行して東西には県道島田金谷線、国道1号バイパス、南北には国道473号が走り、市の南端には東名高速道路が位置している。また、JR金谷駅を始点として大井川に沿って大井川鉄道が走り、さらに、中部では新東名高速道路、南部では富士山静岡空港が開港し、交通の要衝として高い利便性を確保している。気候は、年間平均気温16.4℃、年間降水量2,300mm前後となっており、冬期においても降雪がほとんどない温暖多雨な気候であるため暮らしやすく、また、作物の生育にも適している。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要旨

本県の茶業を取り巻く環境は、茶価の低迷、作業従事者の高齢化と後継者の不足等の諸課題により厳しい状況にある。その中で、優良な担い手が主体となり、効率的かつ安定的な茶業経営を促進する必要があり、このような担い手農家を育成し、農地集積を推進することが急務である。
 担い手への集積を進めるために、ほ場の区画整理を行い、農作業の効率化を促し、農業競争力の強化を図る。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分 事業目的	水利施設等保全高度化事業(畑地帯担い手育成型)							計 (ha)	備考
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	樹園地 (ha)	山林 (ha)	道水路 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)		
区画整理 諏訪原地区			7.1	0.1	0.1	0.1	7.4		7.4
計			7.1	0.1	0.1	0.1	7.4		7.4

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

当地区は、基盤整備により乗用型茶園管理機が効率的に使えるよう経営規模の拡大、生産コストの減少を図り、経営安定に結びつける。
 “つゆひかり”、“おくみどり”等優良品種を導入することによる、安定した品質で、しかも特色のある煎茶生産に取り組む。

2. 土地利用区分

上段:変更前

下段:変更後 (第9表-1)

事業名	土地利用区分 区分	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	その他	小計	原野	山林	その他	計	備考
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		
水利施設等保全高度化事業 (畑地帯担い手育成型)	現況					7.1		7.1	0.2		0.1	7.4	
	計画					6.9 (6.6)		6.9 (6.6)			0.5 (0.8)	7.4 (7.4)	
計	現況					7.1		7.1	0.2		0.1	7.4	
	計画					6.9 (6.6)		6.9 (6.6)			0.5 (0.8)	7.4 (7.4)	

3. 作付方式

播種○ 定植× 収穫△

(第9表-2)

事業名	項目	地目	区分 作物	1 年 目												2 年 目											
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
				水利施設等保全高度化事業(畑地帯担い手育成型)	現況	樹園地	茶					△	△	△	△								△	△	△	△	
計画	樹園地	茶						△	△	△	△								△	△	△	△					

4. 生産計画

上段:変更前

下段:変更後

(第9表-3)

事業名	項目 地目名		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当り収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳		備考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減量	単位面積当り収量増加	
	水利施設等保全高度化事業(畑地帯担い手育成型)	樹園		茶(1番)	5.7 (5.8)		△5.7 (△5.8)			76		△76	4.4		△4.4	△4.4	
茶(2番)				3.1 (3.2)		△3.1 (△3.2)			94		△94	2.9 (3.0)		△2.9 (△3.0)	△2.9 (△3.0)		
茶(3番)				0.3 (0.3)		△0.3 (△0.3)			119		△119	0.4		△0.4	△0.4		
茶(秋冬番)				2.6 (2.7)		△2.6 (△2.7)			133		△133	3.5 (3.6)		△3.5 (△3.6)	△3.5 (△3.6)		
地			改植茶(1番)		5.7 (5.8)	5.7 (5.8)				80 90	80 90		5.2	5.2	4.6	0.6	
			改植茶(2番)		5.7 (5.8)	5.7 (5.8)				150 170	150 170		9.7 (9.9)	9.7 (9.9)	8.6 (8.7)	1.1 (1.2)	
			改植茶(3番)		5.7 (5.8)	5.7 (5.8)				38 43	38 43		2.5	2.5	2.2	0.3	
			改植茶(秋冬番)		5.7 (5.8)	5.7 (5.8)				200 226	200 226		12.9 (13.1)	12.9 (13.1)	11.4 (11.6)	1.5 (1.5)	
		計		11.7 (12.0)	22.8 (23.2)	11.1 (11.2)						11.2 (11.4)	30.3 (30.7)	19.1 (19.3)	15.6 (15.7)	3.5 (3.6)	

5. 労働改善計画

上段:変更前

下段:変更後 (第9表-4)

事業名	項目 地目名	作物名	作付面積	単位面積当り労働投下量 (hr/10a)				備考
				区分	現況	計画	増減	
水利施設等保全高度化事業(畑地帯担い手育成型)	樹園地	茶	5.7 (5.8)	人 力	111 (61)	56 (21)	△55 (△40)	
				機 械	30 (11)	20 (7)	△10 (△4)	
	計			5.7 (5.8)				

6. 級地別土地利用区分

(第9表-5)

※該当なし

土地利用区分	区分 級地名	農用地造成					干 拓					備考
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
田	輪換耕地											
	畑											
	普通畑											
	牧草畑											
	樹園地											
	(果樹園)											

7. 土地配分計画

※該当なし

(第9表-6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地 目 別 配 分 計 画 (ha)								備 考	
		田	輪換耕地	畑			計				
				普通畑	牧草畑	樹園地					

第3節 用水計画

- 1. 計画基準 ※該当なし
- 2. 計画かんがい方式 ※該当なし
- 3. 計画用水系統 ※該当なし

4. 計画用水量

(1)かんがい用水

上段:変更前

下段:変更後

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積 (ha)	水田かんがい			畑地かんがい			田 畑 輪 換						消 費 水 量 (m3/S)	損 失 量 (m3/S)	粗用水量		備 考
		事業名	普通期	代播期	面 積 (ha)	1日当り 計画平均 かん水深 (m3/日)	平均 間断 日数 (日)	面 積 (ha)	水田かんがい			畑地かんがい					平均 最大 (m3/S)		
		水利施設 等保全高 度化事業 (畑地帯 担い手育 成型)							計画平均 単位用水 量 (mm/日)	計画代播 単位用水 量 (mm/日)	普通期	代播期	面 積 (ha)	1日当り 計画平均 かん水深 (mm/日)				平均 間断 日数 (日)	
			計画平均 単位用水 量 (mm/日)	計画代播 単位用水 量 (mm/日)	普通期	代播期	面 積 (ha)	1日当り 計画平均 かん水深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面 積 (ha)									
		6.9 (6.6)	-	-	-	33	7	6.9 (6.6)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(2) 営農飲雑用水

※該当なし

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対象面積			日当り給水量		補給回数	関係戸数	備考
		事業名			単位給水量	最大給水量			
				計					

5. 水源計画

(1) 水利用計画

※該当なし

(第10表-2)

項目 区分	消費水量 a (千m3)	有効雨量 b (千m3)	純用水量 c=a-b (千m3)	粗用水量 d=α(1-a) (千m3)	現況利用可能水量			不足量		水源保存量		水源 工種	備考
					水源名	取水地点 利用可能量 e (千m3)	田畑面 利用可能量 f (千m3)	純不足量 g=c-f (千m3)	全不足 水量 h=d-e (千m3)	水源名	水量 (千m3)		

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

※該当なし

(第10表-3)

項目 貯水池名	流域面積 (ha)		かんがい面積 (ha)			有効貯水量 (千m3)	利用貯水量 (千m3)	利用回数 (回)	最大取水量 (m3/s)	備考
	直接	間接	田	畑・その他	計					
										平均
計										

(イ) 井堰及び自然取入口

※該当なし

(第10表-4)

項目 取水施設	河川名	流域面積	かんがい面積 (ha)			取水量		渇水量 (m3/s)	備考
			事業			最大 (m3/s)	平均 (m3/s)		
			地区内	地区外	計				

(ウ) 揚水機

※該当なし

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積 (ha)			所要水量		揚水機				備考
		事業			最大 (m3/s)	平均 (m3/s)	実揚程 (m)	揚水量 (m3/s)	台数 (台)	全揚水量 (m3/s)	
		地区内	地区外	計							

(エ)用水路

※該当なし

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最 大 通 水 量 (m ³ /s)	延 長 (m)	構 造	備 考
	地区内	地区外	計				

(オ)その他の水源

※該当なし

(3)水温水質

※該当なし

第4節 排水計画

- 1. 計画基準雨量 ※該当なし
- 2. 計画排水方式 ※該当なし
- 3. 計画排水系統 ※該当なし
- 4. 排水量

※該当なし

(第11表-1)

排水系統名	受益面積 (ha)			流域面積 (ha)		基準雨量 (mm)	降雨による直接単位流出量 (m3/s)		基底流量 (m3/ha)		全洪水量 (m3/s)			単位排水量 (m3/s/ha)		備考
	事業			山地	平地		山地	平地	山地	平地		山地	平地			
	農地	その他	計							自然排水	機械排水		山地	平地		
計																

5. 排水対策

(1) 排水水門

※該当なし

(第11表-2)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計画排水量		排水本川			備考
		事業			排水量 (m3/S)	地区内たん水深 (m)	名称	計画降水量 (m3/S)	計画洪水位 (m)	
			計							

(2) 排水機

※該当なし

(第11表-3)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計画排水量		排水機			備考
		事業			排水量 (m3/S)	地区内たん水深 (m)	名称	計画降水量 (m3/S)	計画洪水位 (m)	
			計							

(3)排水路

※該当なし

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (ha)	受益面積 (ha)			計排水量 (m ³ /S)	延長 (m)	構造	排水本川			備考
		事業						名称	計画降水量 (m ³ /S)	計画洪水位 (m)	
		農地	その他	計							

(4)その他

6. たん水検討

※該当なし

(第11表-5)

系統名	受益面積 (ha)	計画洪水量 (m ³ /S)	既設排水能力 (m ³ /S)	必要排水能力 (m ³ /S)	排水方式	標高			湛水状況(許容湛水位以上)			備考	
						田面標高	計画外水位	最高外水位	最大湛水面積	計画内水位	最大湛水時間		

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1)道路

上段:変更前

下段:変更後

(第12表-1)

路線名	項目	幅員 (有効)	延長 (m)	構造	既設道路との関係	備考
支線農道		3.0	× 930	AS舗装	改修・新設	
		(4.0	× 1,700)			

(2)索道

※該当なし

(第12表-2)

路線名	項目	能力 (t/hr)	延長 (m)	接続道路名	備考

2. 路線配置図

※別添 計画平面図 参照

第6節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画

※該当なし

(第13表-1)

項目 地目名	主要作物	自然傾斜	耕地の形態	標準区画の形状	備考

2. 土壌改良

※該当なし

(第13表-2)

項目 区分	面積	土壌	pH		置換酸度 (V)	リン酸吸収 係数 (ma/100a)	ha 当り 所要量			備考
			H O	KCI			石灰 (t)	リン酸質資材 (t)	有機質資材 (t)	

第7節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量

※該当なし

2. 計画洪水量及び調節量

※該当なし

(第14表-1)

地点	流域面積 (km ²)	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m ³ /s)	安全洪水量 (m ³ /s)	必要調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調節の量 (m ³ /s)	ピーク時 調節後 流量 (m ³ /s)	調節後 最大流量 (m ³ /s)	調節前後の 最大流量の差 (m ³ /s)	最大調節量 (m ³ /s)

3. 貯水池

※該当なし

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積		計画洪水量 (m ³ /s)	貯水量			計画調節 流量 (m ³ /s)	可能調節流量 (m ³ /s)	備考
	直接 (km ²)	間接 (km ²)		有効 (千m ³)	洪水調節容量 (千m ³)	多目的 (千m ³)			

4. 洪水調節検討

- (1) 河川改修計画との関係 ※該当なし
- (2) 洪水調節が下流に及ぼす影響 ※該当なし
- (3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討 ※該当なし

5. 管理計画

- (1) 管理機構 ※該当なし
- (2) ダム管理操作上の各種基準 ※該当なし
- (3) 洪水調節要領 ※該当なし

第8節 干拓計画

※該当なし (第15表)

項目 名称	延長 (m)	計画高潮水位 (T.P.m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備考

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画形状

上段:変更前
下段:変更後 (第16表-1)

長辺 × 短辺	区画面積 (a)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田差 (cm)	備考
100 × 50	50	6.9 (6.6)		-	

(2) 表土扱い

上段:変更前
下段:変更後 (第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m3)	備考
7.0 (3.3)		60	42,464 (19,500)	

(3) 末端道水路配置図

※該当なし

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

※該当なし

(第16表-3-1)

項目 区分	面積 (ha)			土壤統(区)名	基準雨量 (mm/day)	単位排水量 (l/s/ha)	計画後の 地下水 位 (m)	集水渠出口以 下の排水方式	備考
	事業名	計							

(2) 心土破碎

※該当なし

(第16表-3-2)

項目 区分	面積 (ha)			土壤統(区)名	土壤硬度	備考
	事業名	計				

3. 客土

※該当なし

(第16表-4)

項目 区分	面積 (ha)			土壤統(区)名	減水深(mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a当り 客土量 (m3)	土壤の性質		備考
	事業名	計			現況	計画	現況	計画		受益地 (%)	採土地 [客土材料](%)	
					平均	平均	平均	平均				

4. 農地保全

(1) 防災林

※該当なし

(第16表-5-1)

項目 区分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間隔 (m)	備考

(2) 排水工

※該当なし

(第16表-5-2)

項目 区分	基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	排水量		備考
				単位排水量 (m3/s/ha)	全排水量 (m3/s)	

(3) 侵食(崩壊)防止工

(第16表-5-3)

※該当なし

施設名	項目	位置	支配面積 (ha)	機能	備考

第10節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

※該当なし

(2) 計画洪水量

※該当なし

2. 堤体補強計画

※該当なし

3. 取水施設改修計画

※該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池

※該当なし

(第17表-1)

名 称	型 式	流域面積 (km ²)		位 置	堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (千m ³)	基盤・地盤 地 質	貯 水 量 (千m ³)		備 考
		直 接	間 接						総貯水量	有効貯水量	
堤 体											
洪 水 吐	型 式	洪水量 (m ³ /s)	備 考	取 水 施 設	型 式	取水量 (m ³ /s)	放 流 施 設	型 式	放流量 (m ³ /s)	備 考	

2. 頭首工

※該当なし

(第17表-2)

名 称	型 式	堤 体 (m)	堤 長 (m)		取 水 位 (m)	取 水 量 (m ³ /s)	付 帯 施 設	備 考
			固 定 部	可 動 部				

3. 揚水機

※該当なし

(第17表-3)

項 目 名 称	位 置	揚 水 量 (m ³ /S)	揚 程 (m)		揚 水 機			原 動 機			備 考
			全 揚 程	実 揚 程	型 式	口 径 (mm)	台 数 (台)	型 式	動 力	台 数 (台)	

4. 用水路

※該当なし

(第17表-4)

項 目 水路名	支 配 面 積 (ha)			通 水 量 (m ³ /S)	延 長 (m)			構 造	勾 配	主 要 構 造 物	備 考
	地 区 内	地 区 外	計		総 延 長	開 渠	そ の 他				

5. その他のかんがい施設

※該当なし

(第17表-5)

施設名	項目	構造	規模	数量	備考

第2節 排水水門

1. 排水水門

※該当なし

(第18表-1)

名称	項目	位置	形式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m ³ /S)	備考

2. 排水機

※該当なし

(第18表-2)

名称	項目	位置	揚水量 (m ³ /S)	揚程 (m)		排水機			原動機			備考
				全揚程	実揚程	形式	口径 (mm)	台数 (台)	形式	動力	台数 (台)	

3. 排水路

※該当なし

(第18表-3)

水路名	受益面積 (ha)			排水量 (m ³ /S)	延長 (m)			構造	備考
	事業				総延長	開水路	その他		
	地区内	地区外	計						

4. その他排水施設

※該当なし

第3節 道路及び索道

1. 道路

(1)道路の総括表

※該当なし

(第19表-1)

項目 区分	路線名	幅員(m) × 延長(m)	構造	付帯構造物			最急勾配 (%)	同左の 延長 (m)	最小曲線 半径 (m)	備考
				名称	構造	数量 (箇所)				

(2)道路主要構造物

※該当なし

(第19表-2)

項目 路線名	名称	規模	構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備考

2. 索道

※該当なし

(第19表-3)

項目 名称	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原動機		備考
				型式	動力	

第4節 農用地造成

1. 農用地造成工

(1)抜根

※該当なし

(第20表-1)

項目 区分	樹種	樹径 (cm)	ha当り本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考

(2)除礫

※該当なし

(第20表-2)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当り平均除礫量 (m3/ha)	面積 (ha)	工法	備考

(3)開墾作業

※該当なし

(第20表-3)

区分	項目	面積 (ha)	工法	備考
	地目			
	造成工法			
	計			

(4)地目変換

※該当なし

(第20表-4)

区分	項目	面積 (ha)	工法	備考
	計			

(5)末端用水路等

※該当なし

(第20表-5)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

(6)末端排水路等

※該当なし

(第20表-6)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

2. 土壌改良

※該当なし

(第20表-7)

区分	項目	面積 (ha)	石炭量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備考
	計					

第5節 洪水調整機能

1. 貯水池

※該当なし

2. 頭首工及び導水路

(1) 頭首工

※該当なし

(第21表-1)

名 称	集水面積 (km ²)		位 置		計 画 洪 水 位 (m)	付 帯 施 設 備	備 考
			堤 長 (m)				
型 式	集水面積 (km ²)	堤 高 (m)	固 定 部	可 動 部	計		

(2) 導水路

※該当なし

(第21表-2)

項 目 水路名	通 水 量 (m ³ /s)	延 長 (m)			構 造	勾 配	備 考
		総 延 長	ト ン ネル	そ の 他			

第6節 干拓施設

1. 堤防

※該当なし

(第22表-1)

項 目 名 称	型 式 (m)	延 長 (m)	構 造				原 地 盤 標 高 (m)		備 考
			堤 頂 標 高 (m)	盛 土 高 (m)	盛 土 標 高 及 び 舗 装	上 流 斜 面	下 流 斜 面	平 均	

2. 潮止め

※該当なし

(第22表-2)

項 目 名 称	工 法	幅 員 (m)	敷 高 標 高 (m)	潮 止 め 堤 標 高 (m)	最 大 流 速 (m/s)	床 固 め 構 造	備 考

3. 付属施設

※該当なし

4. 埋立

※該当なし

(第22表-3)

項目 名称	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m ³)	施工方法	備考

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

上段:変更前

下段:変更後 (第23表-1)

工区名	面積 (ha)	整地工		表土扱		備考
		標準区画	土量 千m ³	面積 (ha)	土量 千m ³	
諏訪原	6.9 (6.6)	50×100		7.0 (3.3)	4.2 (19.5)	支線道路 930m (1700m)
						管路 540m (1030m)

(2) 末端用水路等

※該当なし

(第23表-2)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

(3) 末端排水路等

※該当なし

(第23表-3)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

※該当なし

(第23表-4-1)

項目 区分	面積 (ha) 事業名		集水渠				吸水渠					集水渠出口以下の 排水施設			備考	
		計	勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造		数量 (m/ha)
計																

(2) 心土破碎

※該当なし

(第23表-4-2)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当り標準除礫量 (m3/ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計					

3. 客土

※該当なし

(第23表-5)

項目 区分	面積 (ha) 事業名			客入土量 (m3)	土取場土量 (m3)	運搬距離 (km)	運搬方法	備考
			計					
計								

4. 除礫

※該当なし

(第23表-6)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当り標準除礫量 (m3/ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計					

5. 農地保全

(1) 防災林

※該当なし

(第23表-7)

区分	項目 幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考
	計					

(2) 排水路

※該当なし

(第23表-8)

区分	項目 延長 (m)	流量 (m ³ /s)	構造	備考
	計			

(2) 侵食防止工

※該当なし

(第23表-9)

名称	項目 構造	数量	備考
	計		

第8節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池

※該当なし

(第24表)

名称	位置				備考			
	型式	流域 (km ²)	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (千m ³)	堤長幅 (m)	貯水量 (千m ³)	備考
洪水吐	型式	洪水量 (m ³ /s)	規模 (m)	備考	取水施設	型式	取水量 (m ³ /s)	備考

2. 堤体補強施設

(1) 法面保護施設

※該当なし

(2) 漏水防止工

※該当なし

第6章 付帯工事計画

※該当なし

第7章 工事の着手及び完了予定時期

着手：令和 3 年度

完了予定：令和 7 年度
(8)

第8章 環境との調和への配慮

.....
.....
.....
.....
.....

樹木剪定枝等のチップ化による資源リサイクルを行う。

第 9 章 換地計画の概要

第 1 節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

.....本事業の実施により、工事前の区画形状が大きく変更されるため、従前の土地の上に存する権利関係を工事後の土地の上に確定し、換地処分を行う必要がある。

.....換地計画を作成するにあたっては、農用地の集団化を図り、農業構造の改善を図る目的から換地計画を定める必要がある。

第 2 節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)	備考
諏訪原地区全工区	島田市菊川、神谷城	7.4	
計		7.4	

2. 換地区を設定する理由

.....※該当なし

第 3 節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準	備考
諏訪原地区全工区	土地改良事業計画確定の日の登記簿地積とする。また、確定の日から3ヶ月以内に測量士、測量士補又は、土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申出があった場合は、その申出のあった地積とする。	

上段:変更前

下段:変更後 (第25表-3)

2. 用途別予定地積

換地区名	用途 (取得 予定者)	非農用地区域外に換地する土地										非農用地区域に換地する土地										機能交換に係る土地		一般 国公有地	総 合 計						
		田	畑	樹園地	山林・原野	その他	通常事業施行地域に含める土地 (令第1条の4(書))			計	本事業によって生ずる土地改良施設用地			計	特定用途用地			異種目換地	農用地	生業用地	経営上必要な用地	公設共用地	宅地等			計	合 計	国	県	市 町 他	合 計
							土地改良施設	その他	小計		改良区	その他	計		宅地	その他	計														
全工区	従前の土地 (登記簿)			7.1	0.2	-				7.3				7.3				0.0						0.0				0.1	0.1		7.4
	換地後			6.9 (6.6)					6.9 (6.6)				6.9 (6.6)				0.0 (0.0)							0.0 (0.0)				0.5 (0.8)	0.5 (0.8)		7.4 (7.4)
合計	従前			7.1	0.2				7.3				7.3				0.0						0.0				0.1	0.1		7.4	
	換地後			6.9 (6.6)					6.9 (6.6)				6.9 (6.6)				0.0 (0.0)						0.0 (0.0)				0.5 (0.8)	0.5 (0.8)		7.4 (7.4)	

3. 農用地集団化の方針

(第25表-4)

換地区名	区分	地帯別、グループ別 団地の設定	個人別換地の方法			備考
			位置の選択方法	1戸当り目標団地数	区画畦畔の取扱い	
諏訪原地区		農用地利用集積 促進区域別集団化	各人の換地は、土地利用計画を考慮し、育成すべき経営体の経営農用地を中心に集団化する。	1戸当りの団地数はおおむね1~2団地とする。	移動畦畔	

4. 非農用地換地の方法

(第25表-5)

換地区名	区分	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (㎡)	換地の手段	換地取得予定者	備考
諏訪原地区		鉄塔敷地	計画平面図のとおり	166	異種目換地	従前地所有者	

第 4 節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

----- 標準地比準方式 -----

2. 清算の方法

----- 増価額比例地積清算方式 -----

上段:変更前

第 5 節 換地計画樹立の年度計画

下段:変更後

(第25表-6)

区分 換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備 考
諏訪原地区全工区	令和4年度～令和6年度	令和7年度 (令和8年度)	令和7年度 (令和8年度)	

第 6 節 換地処分の時期に関する特則

----- 該当なし -----

第10章 事業費の総額及び内訳

上段:変更前

下段:変更後

(第26表)

事業種目	事業量	事業費	備考
		千円	
【工事費】		107,000 (299,680)	
1. 基盤整備工	1.0 式	107,000 (299,680)	
【測量試験費】		45,000 (46,320)	
1. 測量試験費	1.0 式	26,000 (27,320)	
2. 換地費	1.0 式	19,000	
【用地買収補償費】		28,000 (4,000)	
1. 用地買収費		-	
2. 補償費	1.0 式	28,000 (4,000)	
【工事雑費】		-	
事業費		180,000 (350,000)	
【地方事務費】		9,000 (17,500)	
1. 事務費	1.0 式	9,000 (17,500)	5.0%以内額
総事業費		189,000 (367,500)	

第11章 効 用

上段:変更前

下段:変更後 (第27表)

事業名	区 分	増加見込効果額 (千円)	増加見込所得額 (千円)	備 考
農地中間管理 機構関連 農地整備事業	作物生産効果	4,133 (4,206)	6,307 (6,406)	食料の安定供給の確保に関する効果
	営農経費節減効果	20,837 (24,263)	20,837 (24,263)	〃
	維持管理費節減効果	△124 (△148)	△33 (△38)	〃
	国産農作物安定供給効果	1,253 (572)	-	〃
				総 費 用 257,419 千円 (現在価値化) (413,616)
				総 便 益 額 383,973 千円 (現在価値化) (496,346)
				総費用総便益 1.49 比 (1.20)
	計	26,099 (28,893)	27,111 (30,631)	

第12章 関連する事業

※該当なし

第13章 現況・計画図面

1. 計画一般図

2. 計画平面図

3. 土地利用計画図